

平成 29 年 6 月 16 日

近畿本部、中国本部、九州本部  
各本部長各位

四国本部長 武山正人

**第 23 回西日本技術士研究・業績発表年次大会への論文募集について【依頼】**

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より四国本部に格別のご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、平成 29 年 11 月に、当本部主催による「第 23 回西日本技術士研究・業績発表年次大会」を愛媛県松山市で開催致します。開催概要は、別途資料（開催趣意書及びパンフレット）のとおりで、大会テーマを『地域の文化とまちづくり～技術士の役割』としています。第一分科会は、一般論文とともに青年技術士の発表を対象としたいと思います。また、第二分科会は女性の部として、サブテーマを『女性がつなぐ技術と社会』として女性技術士の発表をお待ちします。

つきましては、大会テーマにそった内容での論文発表者を募集しますので、選任の上、ご推薦いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

論文テーマ : 『地域の文化とまちづくり～技術士の役割』(一般・青年)  
サブテーマ:『女性がつなぐ技術と社会』(女性)

発表時間 : 各 30 分(質疑応答 5 分を含む)

論文提出希望 : (第一分科会) 一般と青年で担当  
テーマ『地域の文化とまちづくり～技術士の役割』  
近畿、中国、九州及び四国の各地域本部の一般と青年で各 1 編ずつ  
(第二分科会) 女性で担当  
テーマ『地域の文化とまちづくり～技術士の役割』  
サブテーマ「女性がつなぐ技術と社会」  
近畿、中国、九州及び四国の各地域本部の女性で各 1 編

論文受付

- ① 発表要旨の提出期限 : 7 月 21 日 (金)
- ② 報告内容 : 発表要旨 (下記)
- ③ 報告先 : 四国本部事務局宛  
[ipej-shikoku@me.pikara.ne.jp](mailto:ipej-shikoku@me.pikara.ne.jp) (メールにて)
- ④ 論文作成要領等 : 8 月 11 日 (金) までに選考結果と合わせてお送りします。
- ⑤ 論文提出期限 : 10 月 6 日 (金)

発 表 要 旨

【発表テーマ】「〇〇・・・に関する研究」・・・(仮題) で結構です。  
【発表者名】連名の場合は、発表者に○印  
【発表者連絡先】連絡先(住所、電話、e-mail)  
【キーワード】3～5 程度  
【発表要旨】400 文字程度 (A4 1 ページ)  
※なお、論本文は、20 字×40 行の 2 段組みで 4 ページ以内 (偶数ページとします) ので、2 ページか 4 ページ) です (10.5 ポイント)。

\*四国本部広報委員会において発表要旨を確認し、最終的に第一分科会 8 編、第二分科会 4 編を選考いたします。選考結果通知は平成 29 年 8 月 11 日 (金) までに発表者へご連絡を差し上げます。

## 第23回西日本技術士研究・業績発表年次大会（案）

### 1. 開催趣旨

第23回松山大会は、「地域の文化とまちづくり～技術士の役割」としました。地域創生を成功させるためには、「地域における産学官の連携」が重要であることは申すまでもありませんが、単なる技術開発や技術導入だけでは地域に新しい産業、仕事、人が定着することにはなりません。それぞれの地域における文化とその営みの「場」を形成するまちにおいて、地域密着型の産業や仕事が展開され、そこで地域の雇用が確保されることが必要です。

その意味で、地域においてどのようなまちづくりをおこない、どのような産業を興し、地域の雇用を確保するのか、いままでの歴史をふりかえり、これからの戦略はどうあるべきかについて、具体的なテーマを持ち寄って議論することは、地域における指導的立場の技術士としてはたいへん重要なテーマであると考えます。

そのため、基調講演は、開催地松山市と道後温泉の歴史、そのまちづくりについて、道後温泉本館築120年を迎えたこれからの道後と松山の未来について、坂の上の雲ミュージアム館長の松本啓治氏から話していただきます。それぞれの地域におけるまちづくりと重ね合わせてお聞きいただければ幸いです。なお基調講演は、一般市民、学生や技術士以外の技術者などへも公開いたします。

さて、研究・業績発表会となる分科会は、第一分科会（一般・青年）及び第二分科会（女性の部）の2分科会の構成としております。特に、第二分科会は、女性の技術士をメインとする分科会を開催することとしました。この女性の部では、各地域本部から発表していただく女性技術士だけでなく、技術士をめざす女性技術者やJABEEコースの学生などにも参加してもらい、「女性がつなぐ技術と社会」をサブテーマとして、ワークショップ形式で議論を深めます。もちろん、男性諸氏の参加も大歓迎します。

今回は、第一分科会（一般・青年）及び第二分科会（女性の部）の2分科会の構成としております。

第一分科会テーマは、

『地域の文化とまちづくり～技術士の役割』

第二分科会テーマは、

『地域の文化とまちづくり～技術士の役割』

（サブテーマ「（仮）女性がつなぐ技術と社会」）

各本部各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

又、基調講演の理解を深めていただくために、1日目のテクニカルツアーは、道後温泉まちあるきとして、道後温泉ゆかりの地を基調講演者の松本館長に案内していただきます。ツアーは早めに切り上げて、道後温泉で疲れをいやしていただいてから、レセプションとなります。是非、ご参加ください。

※なお、大会開催・参加者申込みについては、改めてご案内させていただきます。

### 2. 開催日・会場・テーマ

開催月日 : 平成29年11月17日（金）～11月18日（土）  
開催地 : にぎたつ会館（松山市道後姫塚118-2、TEL089-941-3939）  
テーマ : 地域の文化とまちづくり～技術士の役割

1日目（11月17日）

●テクニカルツアー：道後温泉周辺のまちなみ、坊っちゃん列車、湯築城跡、酒蔵等を基調講演者の松本館長の案内により見学します。

時 間 : 13:00～16:00

集合場所 : 大和屋本店 1F ロビー

参加人数 : 40名

参加費 : 2,000円 (入館料)

●レセプション (アトラクション: 松山検番によるおどり)

時間 : 18:00~20:00

会場 : 大和屋本店 2F 大和の間 (松山市道後湯之町 20-8、TEL089-935-8880)

参加人数 : 80名

参加費 : 6,000円

(アトラクションは、変更の可能性あり)

2日目 (11月18日)

●年次大会

時間 : 9:00~16:40

集合場所 : にぎたつ会館 (松山市道後姫塚 118-2、TEL089-941-3939)

参加人数 : 200名 (正・準会員)

参加費 : 会員 3,000円 (論文集含む)、非会員 4,000円、弁当 1,000円

3. 年次大会次第

受付 : 8:30~9:00

① 記念式典 : 9:00~9:45

主催者挨拶 (四国本部長 )

来賓挨拶 (日本技術士会会長 )

(予定) (四国地方整備局 )

(愛媛県知事 )

(松山市長 )

② 基調講演 : 9:45~11:00

演題 : 道後温泉の歴史と松山のまちづくり

講演者 : 松本啓治氏 (坂の上の雲ミュージアム館長)

③ 分科会 : 11:10~16:20

第1分科会 (一般・青年)	第2分科会 (女性)
開催場所: にぎたつ会館 1階 芙蓉の間	開催場所: にぎたつ会館 2階 楓の間
(A) 論文発表1 : 11:10~11:40	(A) 論文発表1 : 11:10~11:40
(B) 論文発表2 : 11:40~12:10	(B) 論文発表2 : 11:40~12:10
( 昼食 12:10~13:00 )	( 昼食 12:10~13:00 )
(C) 論文発表3 : 13:00~13:30	(C) 論文発表3 : 13:00~13:30
(D) 論文発表4 : 13:30~14:00	(D) 論文発表4 : 13:30~14:00
(E) 論文発表5 : 14:00~14:30	( 休憩 14:00~14:10 )
( 休憩 14:30~14:40 )	ワークショップ・ディスカッション
(F) 論文発表6 : 14:40~15:10	等 : 14:10~15:50
(G) 論文発表7 : 15:10~15:40	総括 : 15:50~16:00
(H) 論文発表8 : 15:40~16:10	
総括 : 16:10~16:20	

④ 大会講評 : 16:20~16:30

⑤ 次回開催案内 : 16:30~16:35

⑥ 閉会挨拶 (四国本部大会実行委員長) : 16:35~16:40

大会に関する問い合わせ先: 四国本部事務局

〒760-0067 高松市松福町2丁目15-24 香川県土木建設会館

TEL: 087-887-5557 : 087-887-5558

e-mail: ipej-shikoku@me.pikara.ne.jp